

2026年5月期 決算説明会資料



当社のスマイルアート（障がい者アート）レンタルに
作品提供頂いているアーティストの作品

株式会社 レント

証券コード 372A

説明会開催日 2026年7月29日

2026/5期 業績

売上高7.9%成長 営業利益率8.3% 増配実施

- 東京・神奈川、大阪・九州エリアが順調 北関東・東北エリアは回復傾向、東海エリアは伸び悩み
- レンタル資産の増強、レンタル単価の見直し、バリュープラスサービスによる差別化を推進
- アライアンス推進、営業所の拡大拡充、グループ会社強化、人材増強などの成長投資実施
- レンタル資産の購買・物流の効率化によるコスト削減、一部設備投資遅れによるコスト未消化
- 上場時の増資及び利益計上により、財務健全性は向上

2027/5期 予想

売上高9.5%成長 営業利益率8.5% 中間配当実施・増配

- 景気は不透明感も建設投資は5.4%増加見通し
- 積極的な成長投資、下記重点施策の推進により増収増益を予想
- 中間配当実施を決定、増配を予想

重点施策

持続的可能な社会への貢献と持続的な企業価値向上の両立

- レンタル資産の増強、レンタル価格の適正化及び稼働率の向上
- バリュープラスサービスの強化、新規分野の開拓
- 都市圏のネットワーク強化、市場シェア拡大
- アライアンス戦略、国内外グループ機能の強化拡大
- 海外レンタル事業の拡大発展
- 成長を支えるデジタル・AIの活用、次世代人材の育成、ガバナンス・情報発信の強化

目次

1. 2026年5月期 業績	4P~
2. 2027年5月期 業績予想	14P~
3. 成長戦略	18P~
4. Appendix	24P~

1. 2026年5月期 業績

経営環境

国内景気は不透明感 建設投資は増加も遅れ・見直しが発生

国内景気 企業収益・雇用情勢改善、個人消費・設備投資持ち直し、物価・中東情勢・金利などの動向懸念
建設投資 前年を上回る状況で推移も、工事の着工遅れ・投資計画の見直しなどの影響が発生

取り組み

成長投資を継続 バリュープラスサービスの拡大

- 大都市部、中核都市部、及び特別需要地(大型工場、発電所など)の顧客開拓、深耕
- 地場の建設・設備工事需要の獲得に注力
- 環境・安全・効率をキーワードとしたバリュープラスサービスを軸に売上高拡大・差別化推進
- レンタル資産保有量の増強、新規商品・サービスの拡充、レンタル単価見直しの促進
- アライアンスの推進・営業所の新設拡充・グループ会社機能強化・人材増強などの成長投資を推進

2026/5期 業績

売上高7.9%成長 利益率改善 増配実施

- 売上高 529億円 7.9%成長 営業利益 43億円 営業利益率 8.3%
- 資産 102億円増加 負債 54億円増加 純資産 48億円増加
- 配当 210円 → 220円 10円増配 (前年180円より40円増配)

売上高：バリュープラスサービスを軸に、各エリアの需要獲得が進み、+7.9%成長

利 益：レンタル資産購買におけるボリュームディスカウントの推進や
配送における積載率向上及び配送便集約などによるコスト削減、
設備投資の一部遅れによるコスト未消化などに加え、
為替、税額控除等の影響もあり、利益は予想を超過

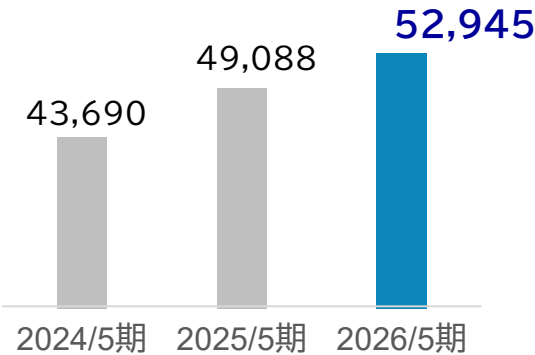
単位:百万円	2025/5期	2026/5期		2026/5期		進捗率 (達成率)
	実績	実績	増減率	業績予想	増減率	
売上高	49,088	52,945	+7.9%	54,000	+10.0%	98.0%
営業利益	3,906	4,382	+12.2%	4,300	+10.1%	101.9%
利益率	8.0%	8.3%		8.0%		
経常利益	3,444	3,946	+14.6%	3,750	+8.9%	105.2%
利益率	7.0%	7.5%		6.9%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,498	2,901	+16.1%	2,600	+4.0%	111.6%
利益率	5.1%	5.5%		4.8%		

売上高は7.9%成長 収益性を示す指標は堅調に推移

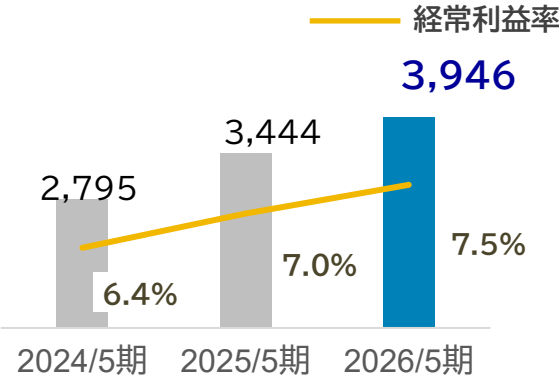
		2025/5期	2026/5期	
成長性	売上高	49,088	52,945	増減率+7.9%
	営業利益	3,906	4,382	増減率+12.2%
収益性	利益率	8.0%	8.3%	
	経常利益	3,444	3,946	増減率+14.6%
	利益率	7.0%	7.5%	
	ROE	18.4%	16.6%	
	EBITDA※	19,360	20,862	EBITDAマージンの目線を40%としてコントロール
	EBITDAマージン	39.4%	39.4%	

※ EBITDA:営業利益+減価償却費(一括償却資産を含む)+リース料

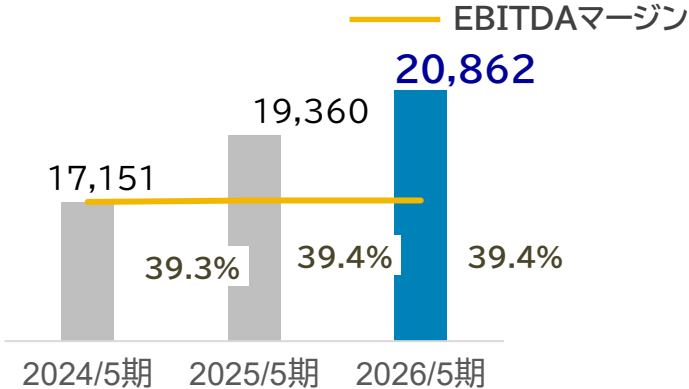
■ 売上高<<通期>>



■ 経常利益(率)<<通期>>



■ EBITDA(マージン)<<通期>>



2026年5月期 業績 ～エリア別売上

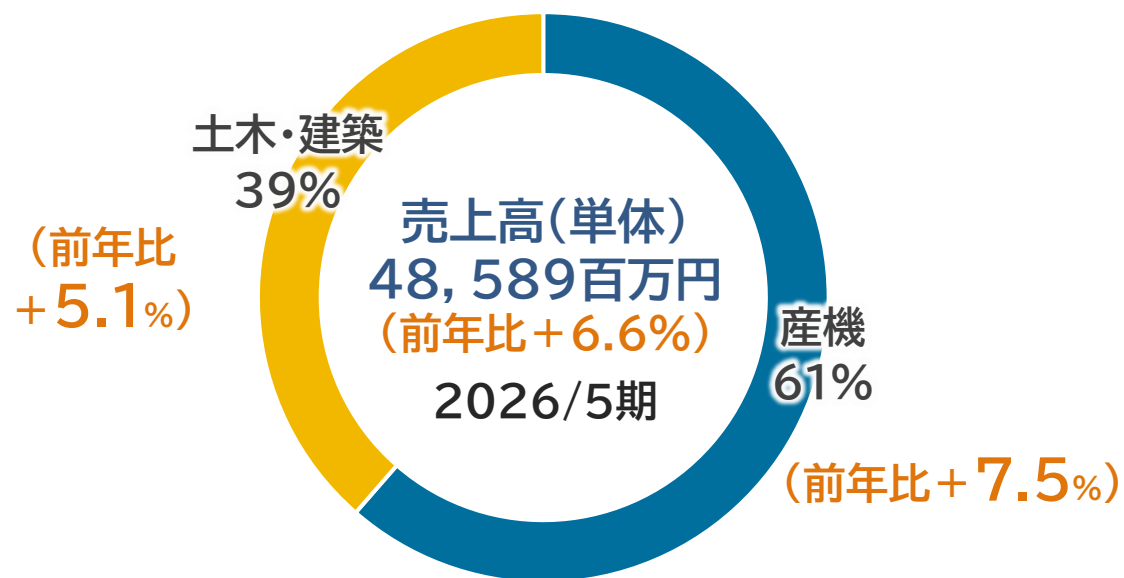


東京・神奈川エリア及び関西・九州エリアが売上高をけん引、
北関東・東北エリアは前年を下回るも回復傾向、東海エリアは伸び悩み
海外・その他も伸長

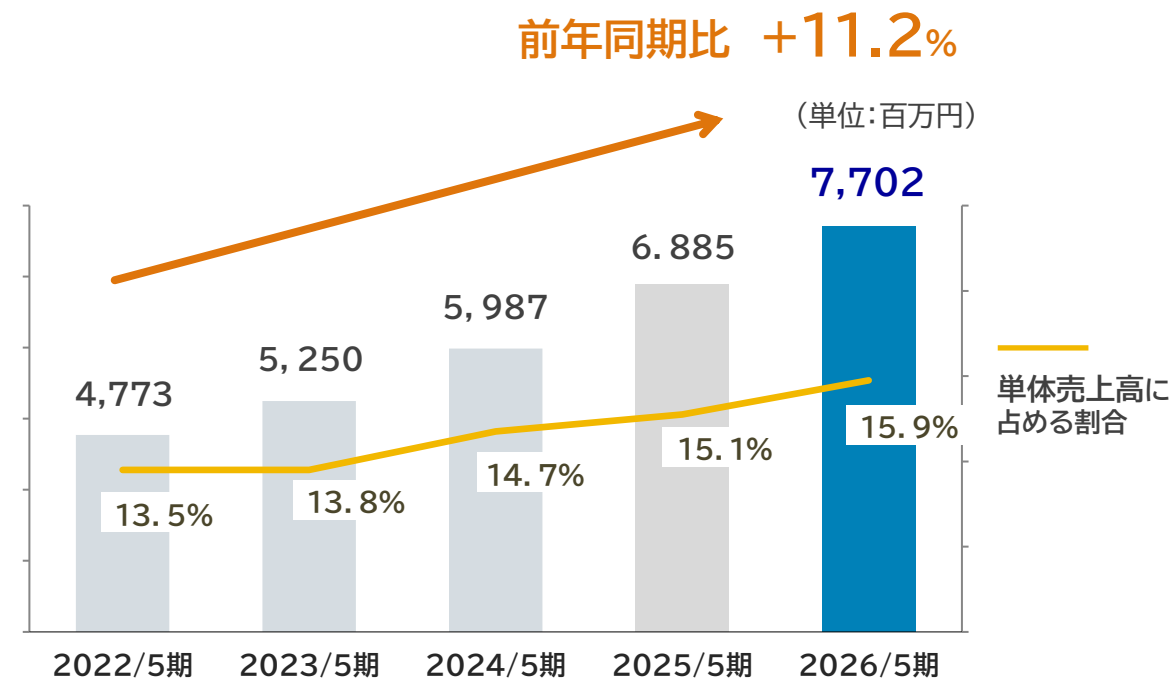
単位:億円	2025/5期	2026/5期	増減	増減率	2026/5期 構成比	概況・増減要因
北関東・東北エリア	46.3	43.6	△2.7	△5.9%	8.2%	半導体関連需要が減少 プラント関連需要及び地場の建設・設備工事 需要の獲得が進展
東京・神奈川エリア	134.6	152.7	+18.1	+13.4%	28.8%	再開発・データセンター・物流倉庫関連需要及び 地場の建設・設備工事需要の獲得が順調
東海エリア	178.9	184.8	+5.8	+3.3%	34.9%	自動車EV関連需要が減少 送電分野やプラント関連需要が増加 地場の建設・設備工事需要の獲得が課題
関西・九州エリア	83.8	90.6	+6.8	+8.1%	17.1%	自動車・プラント・発電所関連需要及び 地場の建設・設備工事需要の獲得が順調
海外	30.8	35.8	+5.0	+16.3%	6.8%	シェア拡大を推進中
その他(本部売上等)	16.2	21.7	+5.5	+33.9%	4.1%	順調に推移 (バッテリー再生・教習・中古販売など)
連結売上高	490.8	529.4	+38.5	+7.9%	100.0%	

産機分野の売上が堅調に推移、バリュープラスサービスが売上高をけん引

顧客業種別売上高構成比



バリュープラスサービスに係る売上高



2026年5月期 業績 ～レンタル売上の構成要素

車両・高所作業機を中心に商品保有量増強、
土木・道路機械、照明・保安・資材類をはじめ、レンタル単価は全般的に上昇
揚重・荷役・運搬、照明・保安商品の稼働率が課題であるが回復傾向



約7千種66万台超のレンタル商品

車両



28%

(構成比※)

高所
作業機



23%

土木・
道路機械



16%

揚重・荷役
運搬



11%

環境・発電機
コンプレッサー



10%

作業ツール・
機材



6%

照明・保安
資材類



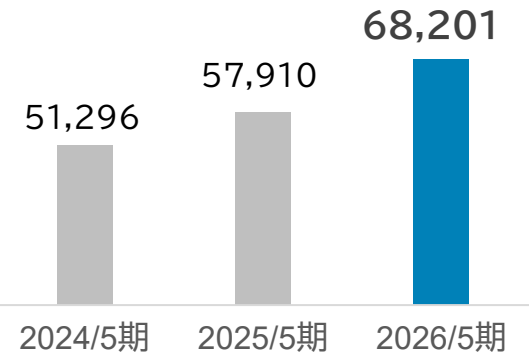
6%

(構成比、新品購入価格ベースでの商品構成比、2026年5月末時点)

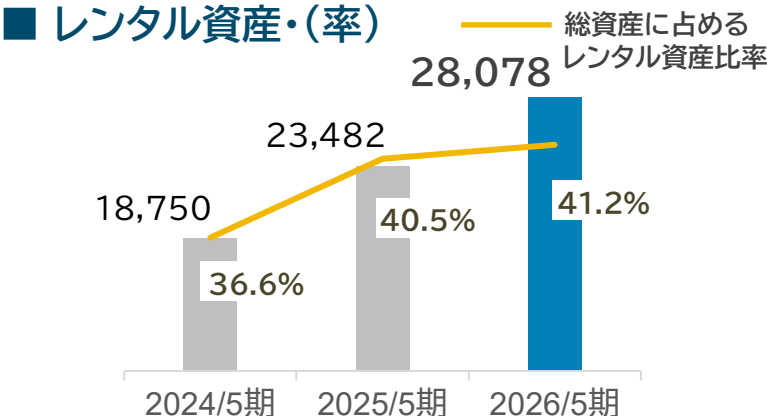
レンタル資産増強及びグループ会社の機能強化を推進 次年度資金の先行調達を実施

単位:百万円	2025/5期 実績	2026/5期 実績	前期末比	増減率	主な増減要因
総資産	57,910	68,201	+10,291	+17.8%	
-流動資産	16,076	18,663	+2,587	+16.1%	現金及び預金増(次年度資金先行調達) 売上債権増
-固定資産(レンタル資産)	23,482	28,078	+4,596	+19.6%	保有量増強
-固定資産(その他)	18,351	21,459	+3,108	+16.9%	グループ会社機能強化
負債	42,674	48,135	+5,461	+12.8%	
-有利子負債	29,309	36,445	+7,136	+24.3%	レンタル資産増強 グループ会社強化 次年度資金先行調達
-その他負債	13,365	11,689	△1,676	△12.5%	取適法対応による仕入債務圧縮
純資産	15,235	20,066	+4,831	+31.7%	上場に伴う新株式発行 利益剰余金

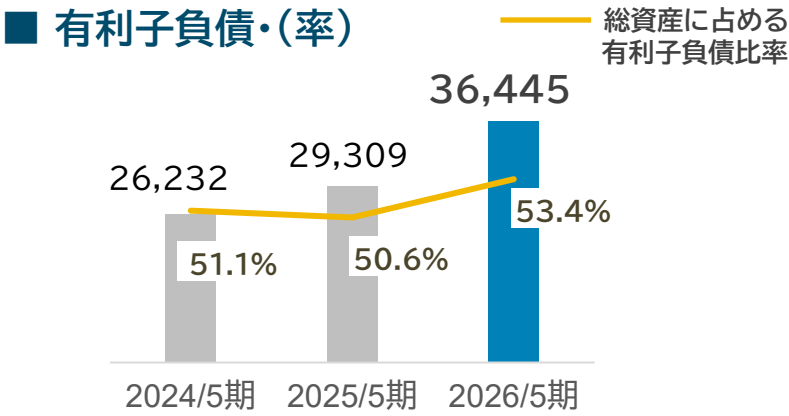
■ 総資産



■ レンタル資産・(率)



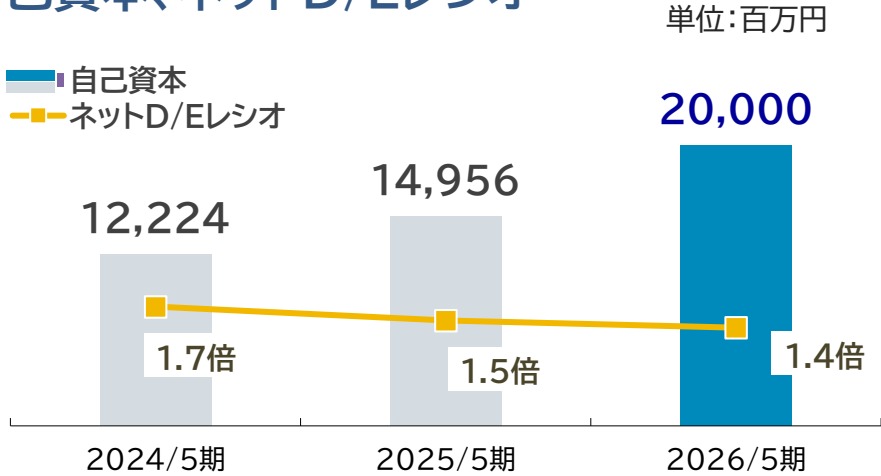
■ 有利子負債・(率)



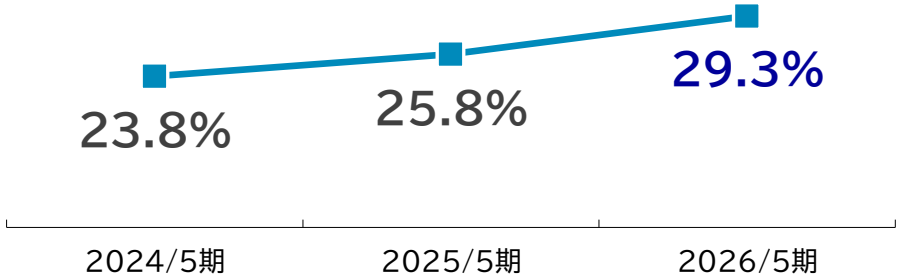
上場に伴う新規株式発行、並びに利益計上により、健全性が向上

単位:百万円		2025/5期末	2026/5期末	上場に伴う新規株式発行並びに利益計上により純資産が増加
健全性	ネットD/Eレシオ※1	1.5倍	1.4倍	
	自己資本比率※2	25.8%	29.3%	

自己資本、ネットD/Eレシオ※1



自己資本比率



※1 ネットD/Eレシオ:(有利子負債－現預金)÷(純資産－新株予約権－非支配株主持分)
※2 自己資本比率(純資産－新株予約権－非支配株主持分)÷総資産

営業キャッシュフロー＋資金調達により、積極的な成長投資を実行

キャッシュイン

資金調達 上場に伴う新株	25.0億円
営業キャッシュフロー(※)	123.2億円
(※)・レンタル資産の取得 仕入債務の減少(圧縮) 法人税等の支払額を除く ・リース債務の返済を含む	
資金調達 金融機関	47.1億円

キャッシュアウト

成長投資資金 124.4億円	レンタル資産	93.4億円
	拠点・システム増強	18.0億円
	グループ会社強化	12.9億円
仕入債務の減少(圧縮)		31.9億円
法人税等の支払額		11.9億円
株主還元		5.7億円
その他		2.6億円
キャッシュの増加		18.6億円

2. 2027年5月期 業績予想

経営環境

景気は不透明感も建設投資は5.4%増加見通し

国内景気 緩やかな回復も、中東情勢・金利などの動向懸念

建設投資 民間住宅投資増加、設備投資・改装・改修継続、公共土木建築投資増加により、5.4%増加
・公共インフラ防災減災・老朽化対策工事増加、グリーン成長戦略関連投資加速
・都市部再開発、データセンター・物流施設の新設・改装・改修関連投資が堅調に推移

取り組み

持続的な成長と企業価値向上に向けた施策の推進

- レンタル資産の増強、レンタル価格の適正化及び稼働率の向上
- バリュープラスサービスの強化、新規分野の開拓
- 都市圏のネットワーク強化、市場シェア拡大
- アライアンス戦略、国内外グループ機能の強化拡大
- 海外レンタル事業の拡大発展
- 成長を支えるデジタル・AI活用、次世代人材育成、ガバナンス・情報発信強化

業績予想

売上高9.5%成長 利益率改善 中間配当実施・増配

- 売上高 580億円 9.5%成長 営業利益 49.5億円 営業利益率 8.5%
- 配当 中間配当実施 中間117.5円 期末117.5円 年間予想235円（前年より15円増配）

売上高 9.5%成長 営業利益 12.9%成長 自己資本比率 +2pt改善

単位:百万円	2026/5期		2027/5期			
	実績	利益率	予想	利益率	増減	増減率
売上高	52,945	-	58,000	-	5,055	+9.5%
営業利益	4,382	8.3%	4,950	8.5%	567	+12.9%
経常利益	3,946	7.5%	4,250	7.3%	304	+7.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,901	5.5%	3,000	5.2%	99	+3.4%

ROE	16.6%	14.2%
ネットD/Eレシオ	1.4倍	1.4倍
自己資本比率	29.3%	31.4%



※新品購入価格ベース

2026/5期 10円増配 2027/5期 中間配当実施（前年より15円増配）

配当方針

- ・株主の皆様に対する利益還元を、経営の最重要施策の一つと位置付けている
- ・経営基盤強化のため、内部留保の充実を図りつつ、継続的かつ安定的な配当を行い、また業績に応じた適切な配当水準を確保する

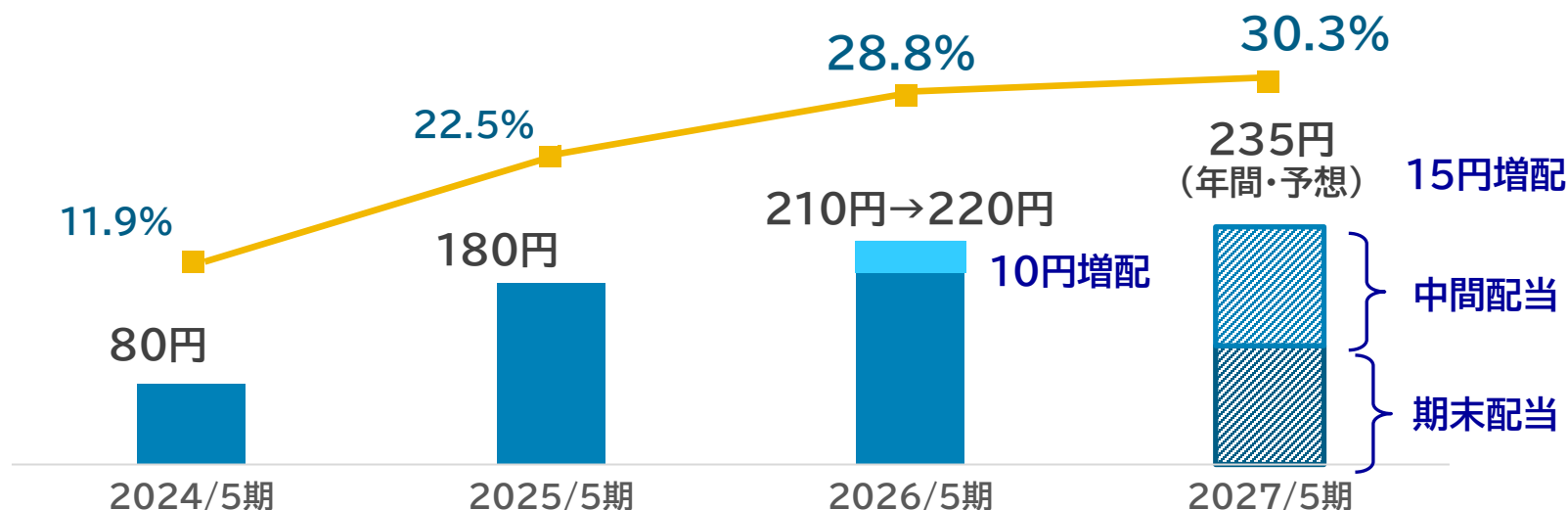
2026/5期

予想利益超過に基づき10円増配 210円 → 220円 （前年180円より40円増配）

2027/5期

2027年5月期より、中間、期末 年2回の配当を行う

中間予想 117.5円 期末予想 117.5円 年間予想 235円 （配当性向30%程度を予定）



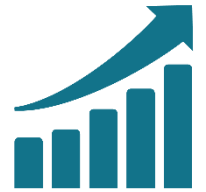
※2027/5期の事業年度において、上記の配当性向による剰余金の配当等が行われることを保証するものではありません。

3. 成長戦略

選ばれる、その先へ「価値創造レンタル企業」

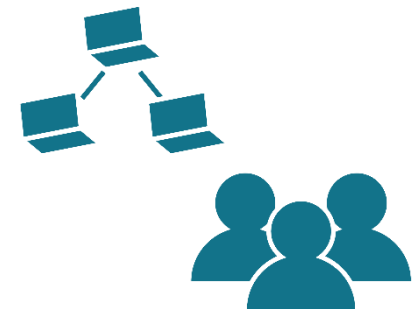
成長戦略

レンタル資産の増強、レンタル価格の適正化及び稼働率の向上
バリュープラスサービスの強化、新規分野の開拓
都市圏のネットワーク強化・市場シェア拡大
アライアンス戦略・国内外グループ機能の強化拡大
海外レンタル事業の拡大発展



事業基盤強化

デジタル・AIを活用した事業発展・業務改革
持続的成長を担う次世代人材の育成
ガバナンスの一層強化、適時・正確・公平な情報発信
事業活動を通じた社会貢献



レンタルに付随した「バリュープラスサービス」の提供により、総合的に顧客の事業の効率化に寄与

レンタル事業を通じて蓄積し続けてきた
多種多様な機器の

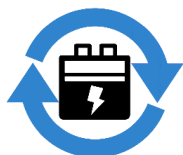
有効な活用ノウハウ

レンタル資産の修理・メンテナンスを
通じて築き上げてきた

機械整備力

バリュープラスサービス

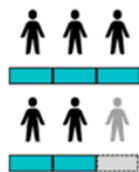
資源有効活用・
環境保護・
コスト削減



法令遵守・安全



効率改善、
省力化・省人化



事故防止・
作業の安全性向上



労働衛生・
環境保全



正確かつ適切な
作業の実現



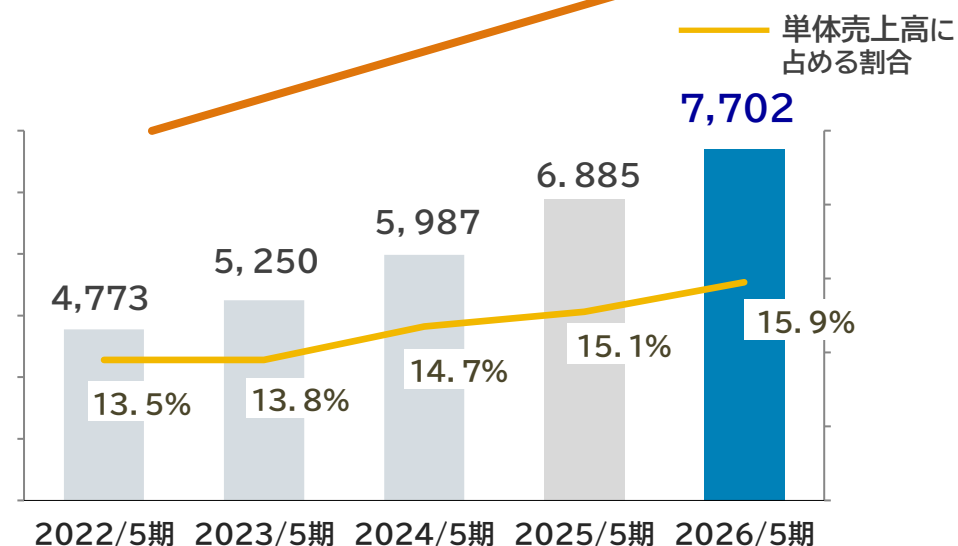
高度な
清浄度管理



■ バリュープラスサービスに係る売上高

(単位:百万円)

+12.7% 年平均成長率

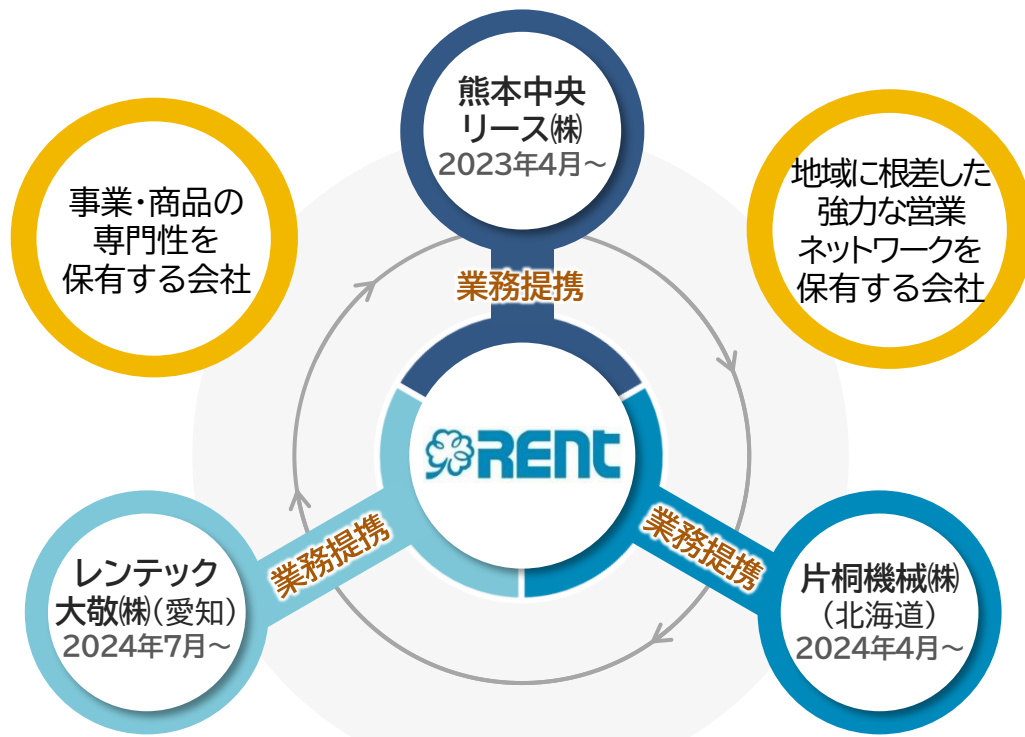


- 収益性が高く、利益に貢献している商品群
- バリュープラスサービスを起点として様々な顧客にリーチし、汎用品の売上増加にも繋げている

当社独自の戦略であるアライアンスにより、持続的な成長を実現

各社の成長のためのシナジー効果を追求した業務提携の輪

連携内容 レンタル商品・設備・物流・人材・技術・情報・ノウハウの相互活用



アライアンス企業の拡大、連携内容の拡充に取り組む

アライアンスの特徴

- アライアンス企業の特徴
 - ① 地域に根差した強力な営業ネットワークを保有する会社
 - ② 事業・商品の専門性を保有する会社
- 現場対応力の高い企業とアライアンスを組み、**グループのネットワーク拡大や産機分野・バリュープラスサービス拡販を図ることで、持続的な成長につなげる**
- 経営の独立性を維持しながら相互に機能を補完し合うことを目的とするが、提携関係を補完するため、一部のアライアンス企業とは資本関係を構築

レンタル業界は規模を拡大する全国ネット企業と現場対応力の高い企業に二極化が進むなか、当社はアライアンスの輪を拡大し、レンタル業界の第三極を形成していく

国内都市圏や工業地帯を中心としたレンタルニーズが大きいエリアに出店し、 レンタル総合サービスをグループで提供

本社(静岡) / 東日本支社 / 西日本支社

営業拠点
73か所

営業所・出張所 69か所

広域事務所 1か所
教習センター 2か所
アート部門 1か所

整備拠点
13か所

管理センター 11か所
測機工具センター 1か所
BRSセンター 1か所
(ほか各地にデポ、カーケアセンター)

グループ会社
4社(※)

運送事業

- ・ レント総合サービス(株) 5か所
- ・ (株)アテックス 1か所

自動車整備事業

- ・ (株)三光塗装钣金工業 3か所
- ・ 神奈川石油販売(株) 1か所

アライアンス先
3社

熊本中央リース株式会社(熊本)
片桐機械株式会社(北海道)
レンテック大敬株式会社(愛知)

【2026/5期 出店済】

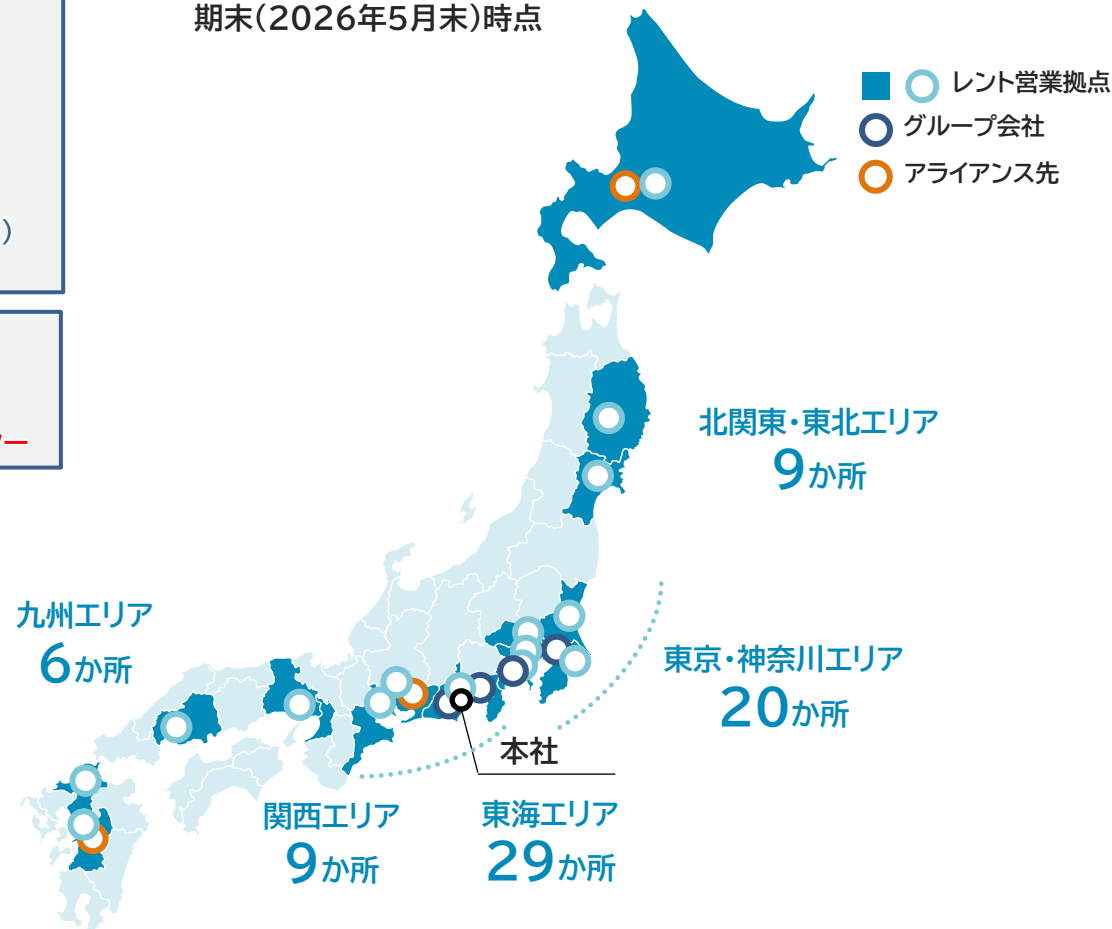
2025年8月 北上出張所
西東京営業所
2025年12月 神戸営業所
広島出張所
2026年3月 柏営業所
2026年4月 半田営業所
(武豊営業所統合)
2026年5月 久山出張所

【2027/5期 出店予定】

2026年6月 加古川営業所
一宮営業所
2026年9月 熊本中央センター

2025年11月 グループ化
神奈川石油販売(株)

各エリアの営業拠点数
期末(2026年5月末)時点



(※) 拠点数は、2026年5月末時点、
またグループ会社は、レンタル事業に関わる主な会社を記載しております。

ASEAN各国で産業機械・建設機械レンタルサービスを展開、 レンタル資産・人材のグループ内共有化を推進



タイ
2008年設立

RENT (THAILAND) CO., LTD.
RENT TRADE & SERVICE CO., LTD.

Rent (Thailand) Co., Ltd.
Rent Trade & Service Co., Ltd.

- 本社所在地 バンコク
- 従業員数 244名
- 営業所・整備拠点 8拠点



ベトナム
2022年設立

RENT
RENT VIETNAM CO., LTD.

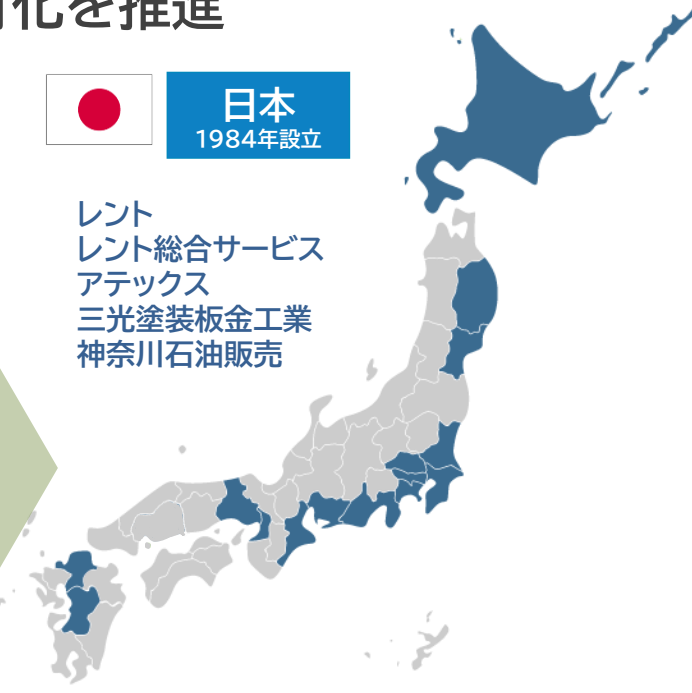
Rent Vietnam Co., Ltd.

- 本社所在地 ハノイ
- 従業員数 62名
- 営業所・整備拠点 2拠点



日本
1984年設立

レント
レント総合サービス
アテックス
三光塗装板金工業
神奈川石油販売



インドネシア
2023年設立

RENT
PT. RENT INDONESIA ASIA

PT. Rent Indonesia Asia

- 本社所在地 タンゲラン (ジャカルタ近郊)
- 従業員数 50名
- 営業所・整備拠点 2拠点



- ・ 既存及び潜在的なレンタルニーズに応え**ASEAN諸国の経済成長に寄与する**
- ・ グループ内にてレンタル資産・人材を共有し、**既展開国における規模拡大、周辺諸国への展開を図る**

4. Appendix

企業理念

私たちは限りある資源を有効に活用し 新鮮な提案力と高度なサービス力を通して豊かな社会創りに貢献し続けていくことを使命とします

経営方針

私たちは、「新しい価値を創るワンストップコーディネーター」として、「持続可能な社会への貢献」と「持続的な企業価値の向上」の両立を目指します

- 1 高付加価値なレンタルサービスを提供することにより、お客様の満足と、バリューチェーン全体の相互発展を実現します
- 2 人権と人財の多様性を尊重するとともに、安心・安全で働き甲斐のある職場づくり、社会に貢献できる人づくりを行い、あわせてステークホルダーとの信頼関係強化に努めます
- 3 循環型社会の実現に寄与するとともに、インフラレジリエンスの強化や、環境保全などに関わり、地域との共存共栄を図ります

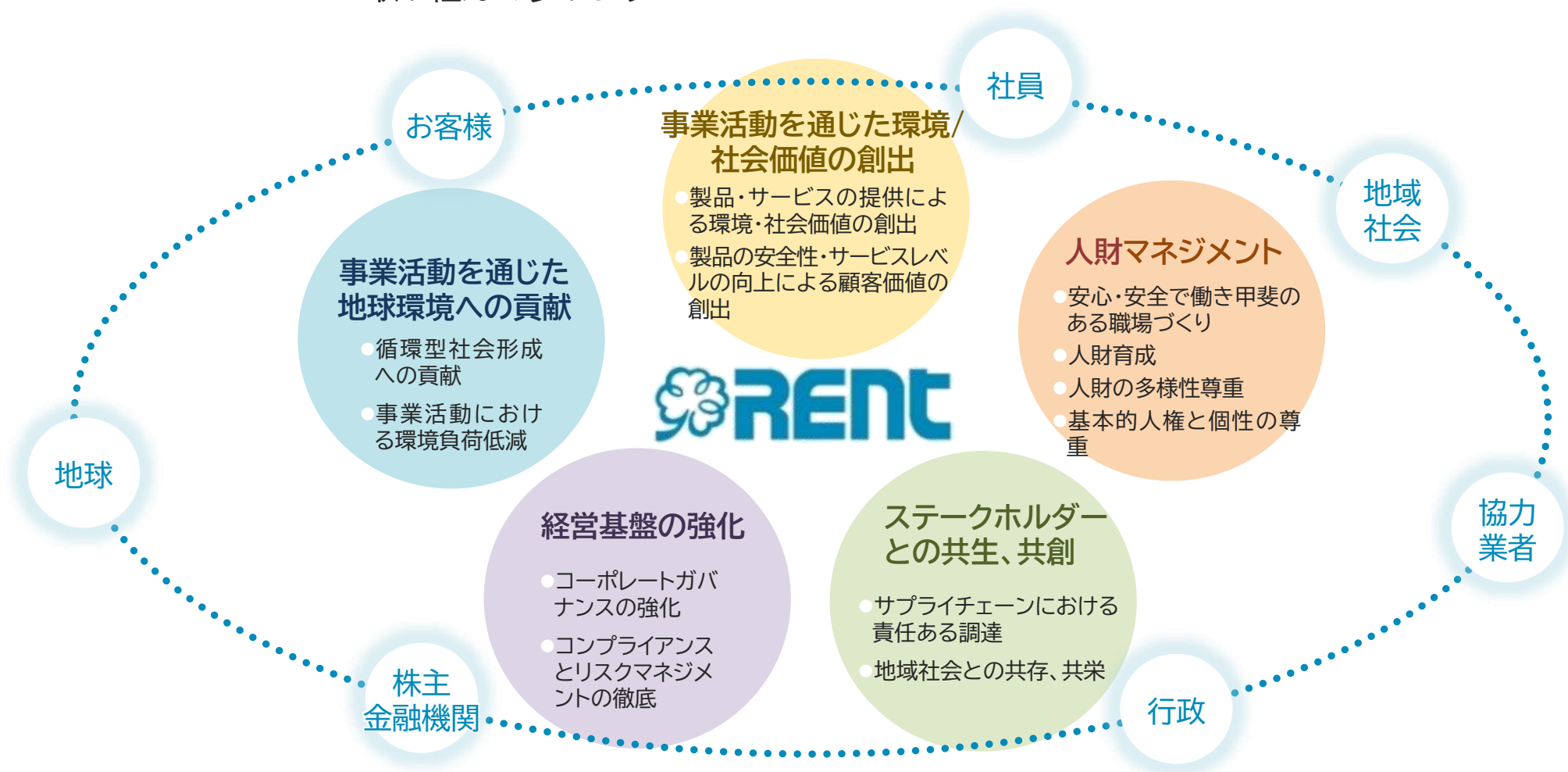
行動指針

- 1 柔軟な発想・工夫・実行力をもってお客様の信頼獲得を目指します
- 2 環境・安全・効率をキーワードとして、お客様により満足いただける サービスを常に提供します
- 3 より多くの分野のお客様にレンタルシステムを活用していただくことを目指します
- 4 強い結束力を持ち、組織力を最大限に発揮します

PROGRESSIVE AS WE GO

サステナビリティ方針

レントは、企業理念に基づき、限りある資源の有効活用や豊かな社会創りへの貢献のため、事業活動を通して持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上の両立に取り組んで参ります



1984年6月に創業後、外部環境に対応しながら業容を拡大

管理機能・物流網の整備・強化

顧客領域の拡大

海外展開

商品差別化

M&A/アライアンス

1989年1月
レンタル商品の集中管理、
高品質化を目的として、
藤枝サービス工場
(現 静岡管理センター)開設

2014年6月
差別化商品
(現バリュープラス
サービス) 展開開始

2018年2月
(株)三光塗装鋁金工業
2021年8月
(株)アテックス
株式を取得し子会社化

2022年9月
ベトナム法人設立
2023年9月
インドネシア法人設立

2023年4月
熊本中央リース(株)との
アライアンスを皮切りに
他2社とアライアンスを締結

2025年6月
東京証券取引所
スタンダード市場 上場

2025年11月
神奈川石油販売(株)
株式を取得し子会社化

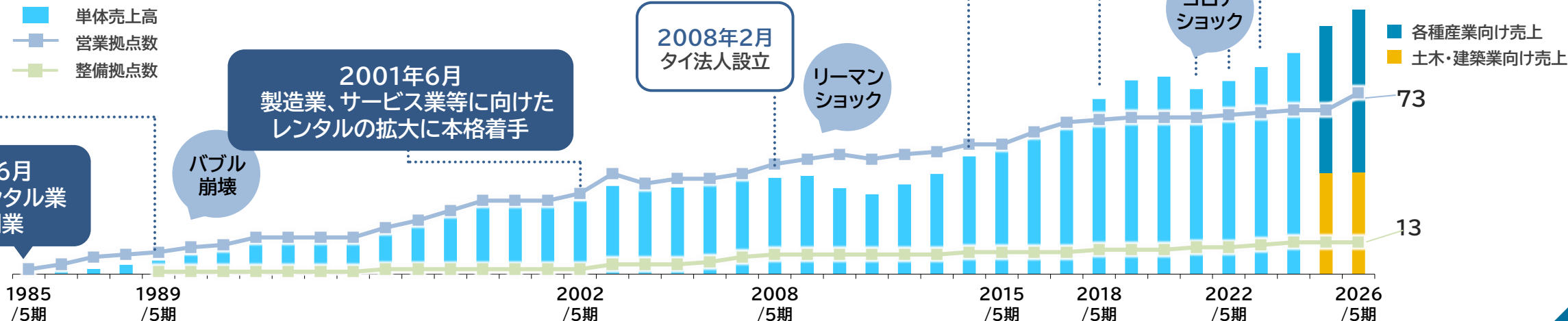
2001年6月
製造業、サービス業等に向けた
レンタルの拡大に本格着手

2008年2月
タイ法人設立

リーマン
ショック

コロナ
ショック

1984年6月
建設機械レンタル業
として創業



レンタル商品保有数(連結)



約7千種
66万台超

従業員数(連結)



1,750人超

海外進出国数



ASEAN
3か国

レンタル営業拠点(連結)



営業拠点
83か所



営業拠点: レント 西淀川営業所

レンタル整備拠点(連結)

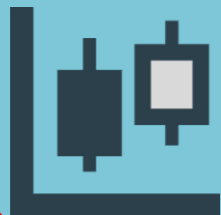


20か所



整備拠点: レント 名古屋管理センター

売上高(連結)



529億円
前年同期比 +7.9%

経常利益(連結)



39億円
前年同期比 +14.6%

総資産(連結)



682億円
前年同期比
+17.8%

建設機械に加えて、産業機械・各種ツールなどへと広がるレンタル事業



幅広いラインナップで “何でも揃う”レンタルメリットの追求

- 基盤となる**建設業界**向けレンタル
- 幅広いラインナップで「所有するより借りる」レンタルメリットを実感いただき、経営の合理化に貢献
- 以前より更に、環境・安全・効率が求められる中で、それらを重視した幅広い商品展開とご提案によって、課題解決に貢献



“より多くの
分野のお客様”
にレンタルを

- 早くからレンタルシステムの活用が定着した建設業界と違い、**製造・物流・プラントなどの業界**には、「所有するより借りる」という考え方が普及していなかった
- 当社は2000年代はじめから、
“より広くレンタルシステムをご紹介します、お客様の経営の合理化に寄与する”という方針のもと、この分野のレンタル事業化に挑戦

「スマイルあーと」うごく美術館プロジェクト

- 障がいを持つ作家さんのアート作品「スマイルあーと」のマグネットシートを、レンタル車両や仮囲いなどに貼付けて顧客に利用頂く、「うごく美術館プロジェクト」
- 顧客の社会貢献、作家さんの自立支援に貢献(料金の一部を作家さんに寄付)



バッテリー評価試験・再生サービス「BRS」

- バッテリーの劣化状態を数値診断し、唯一無二の特許技術により、劣化したバッテリーの再生(能力70%～90%)を実現
- 再生によりコスト削減と環境負荷軽減の両面で顧客に貢献



「クリーンルーム対応」サービス



- 半導体工場などのクリーンルームの建設やメンテナンス作業の際、搬入・使用される機材をクリーン化、高い清浄度が求められる顧客のニーズに対応
- 当社のクリーンブース(自社設備としての保有は業界唯一)にて清掃・梱包した機材を提供、ISOクラス6レベルまでの清浄度に対応が可能

法令遵守・安全に貢献する「教習サービス」



- 顧客の「法令順守・安全対策」のための各種講習を、静岡・愛知労働局長認定の登録教習機関として実施・運営
- 建機操作に必要な技能講習・特別教育に加え、職長安全教育など、現場責任者向け教育も実施

電気ケーブルの延線作業を省人化するレンタルサービス

- 「延線ボール」を用いた送り出し工法の提案により、延線作業の省力・省人化・安全確保を実現
- 高圧電気ケーブルの延線工事は、従来より人力にて行われ、大勢の作業人員が必要であった課題を解決
- 高度な知識を持つ専任担当者が現場調査、機種や設置方法の図面提案、現場立ち合いなどの利用支援を実施



接触事故防止に貢献するレンタルサービス



- 工事現場等にエリアセンサーを展開し、規制範囲内への物体進入時に検知・警報発報・重機の作動停止を行う当社独自のシステム「レーザーカーテンⅡ」等、接触事故防止に貢献する各種レンタル商品を提供
- 橋梁下や線路際等、接触・監視作業の注意が必要な現場における安全性向上に貢献

ISO品質管理体制による検査機器 校正・レンタルサービス

- トルク検査機器(トルクレンチ)、測量機等の校正済レンタルサービス
- 国家標準ハートレースされた設備を備えた校正体制、品質管理の維持・向上に関する取り組みにより、ISO9001:2015認証取得
- 顧客の保有している機器についても、校正サービスを実施



安全・品質管理を追求した揚重機レンタルサービス



- 油圧ジャッキ・チェーンブロック等、各種揚重機のレンタルに際し専用装置を用いた過重負荷試験を実施し、安全性を確保
- 顧客の保有している揚重機についても、点検・荷重負荷試験を代行し、品質維持と安全性確保に貢献

労働衛生・環境保全に貢献する「有害物対策サービス」

- アスベストや鉛など有害物質が発生する現場に対し、集塵機等の対策機材をレンタル、顧客作業員の暴露防止、周辺環境への飛散防止を行う
- 汚染フィルター等の適切な廃棄手順を顧客にご案内し、さらに独自の有害物除去システムにより、機材の安全性確保を徹底



365日24時間取り出し可能な「スマートレント」



- 365日24時間、いつでもレンタル車両の受け取り・返却が可能な無人貸出サービス
- 事前登録・予約申込により、QRコードにてカギを受け取り
- 既存営業所の敷地外も含め、全国に拡大中

重機運搬の安全性に貢献するレンタルサービス

- 車両から掘削機を積み下ろす際、荷台が地面までスライドし安全に積み下ろしできる「ローダーダンプ」を3t～6tまでラインナップ
- 他社に先駆け、3.5tクラス、6tクラスをオリジナルで企画開発、レンタルを開始



ニッチな工事需要に対する高品質レンタルサービス



- 限られた製品メーカーによる供給不安、顧客の自社保有による品質面の課題に対し、いち早く大量導入を行い、専門のメンテナンス部門を組成することで、安定供給と高品質を実現
- ※画像は送電線牽引の緊線ウィンチ

【ディスクレーマー】

本資料は、株主・投資家などの皆さまに 当社の財務状況、経営方針などの情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれている場合があります。こうした記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の業績は環境の変化などにより、将来に関する記述に明示または黙示された予想と大幅に異なる可能性があることにご留意ください。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レント IR担当

URL:<https://ir.rent.co.jp/irsupport/contact>